

革新と挑戦で、新たな価値を生み出すまち・のおがた

市では、急激に変化する社会経済状況下において、地域経済を維持し、将来を見据えて事業成長を牽引させていくため、今後取り組むべき産業振興について、デジタル化やSDGs、カーボンニュートラルなどの視点を取り入れた第2次直方市産業振興ビジョンおよびアクションプラン(計画期間:令和5年度～令和9年度)を策定しました。

計画が終了する令和9年度までに、市内給与所得者の総所得額および市内総生産額の増加を目指し、次の4つの基本方針に基づく施策を実施します。

〈基本方針1〉 チャレンジできる環境を整え、新たな価値の創出へと繋げる

事業者が持つ固有技術について、勘と経験に基づいていた知識やノウハウの「形式知化」を推進し、事業拡大やビジネスモデルの変容といった新たなチャレンジを後押しすることで、新しい付加価値の創出へと繋がります。

【主要施策】

経営層を対象とした成長戦略策定支援、Sier(システムインテグレーター。システムの開発や運用などを請け負う企業のこと)・フィールドエンジニア(製品の保守点検やトラブルの解決、納入時のサポートや製品の説明などを現場で行う技術者のこと)の活用支援、固有技術の研鑽に対する支援、付加価値額向上に向けた新しいビジネスモデルの構築支援 など

〈基本方針2〉 未来を切り拓く人材を育成し、事業成長を実現する

深刻化する人手不足の状況に対応するため、市内事業者の認知度を向上させ、UJターン人材や副業・兼業人材など、高い技術を持った人材や、外国人をはじめとする多様な人材を確保、育成し事業成長を実現します。

【主要施策】

副業・兼業・UJターン人材の確保および活用、働く外国人の活躍支援、オペレーションマネジメント(組織内の様々な工程がうまく進むようにサポートする取り組みや仕組みを管理すること)の人材育成支援、リカレント教育(社会人になってから仕事に関する専門的な知識やスキルを自ら教育機関等で学び直すこと)の支援、技能者の技能向上支援 など

〈基本方針3〉 経営基盤を強化し、地域の技術を持続する

本市で長年事業を継続してきた事業者の経営基盤の強化や、デジタル技術の活用促進を進めます。刻一刻と変化する社会情勢に適応できる事業者への成長を推進し、本地域の産業技術を将来へ持続させます。

【主要施策】

直鞍ビジネス支援センター事業の実施、市内企業のデジタル技術の導入支援、事業承継におけるシーズ（企業が持つ独自の材料や素材、技術力や企画力など）とニーズの発掘、事業承継の伴走型支援 など

〈基本方針4〉 地域の経営資源を活かし、産業全体の底上げを図る

本市には歴史の変遷とともに築かれた中心市街地や公共交通機能があり、商業、農業など幅広い産業が集積しています。魅力あるまちづくりを進めるとともに、まちの機能を支える産業を伸ばし、産業全体の成長を目指します。

【主要施策】

産業技術における大学研究機関等との共同研究の実施、新たな産業集積地の整備検討、超精密加工分野の企業誘致、スタートアップ支援、直鞍産業振興センター（ADOX福岡）との連携の強化



問い合わせ

商工観光課 工業振興係

TEL:25-2159

計画全文および概要版のデータは、市ホームページでダウンロード可能です。

https://www.city.nogata.fukuoka.jp/sangyo/_1229/_12638.html

